

笠岡文化散歩(Ⅰ)

本年度は笠岡市の歴史に残る文化財を取材し会報誌に掲載いたしたいと想います。

よろしく願いいたします。(L: 豊池 勇)

小野竹喬と南昌院



光明山南昌院 山門

昭和 51 年(1976 年)に文化勲章を授賞した小野竹喬画伯は明治 22 年(1889 年)に岡山県小田郡笠岡村(現在は笠岡市笠岡 2569 番地)に生まれました。生家は浜中屋の屋号でラムネ製造業と菓子屋を営んでいました。日本中、水道設備が完備する以前は井戸に依り飲料水、及び生活水を得ていました。海に面した笠岡では井戸の水にも海水が混ざる処が多く、良質の真水が湧く井戸は稀少でした。その中で小野竹喬の生家(旧西本町)はラムネ製造(商標:日之出ラムネ)に適した水を湧する土地でした。

竹喬の祖父に当たる白神澹庵(たんあん)は画家であり、兄益太郎(雅号:小野竹桃)は竹内栖鳳門下で学んだ日本画家です。この兄の勧めがあり小野竹喬(本名:小野英吉)は京都に上り画家を志しました。



小野竹喬 松巒(ショウラン) 南昌院蔵

小野家の菩提寺である高野山真言宗南昌院(住職は当クラブメンバー L. 金山真澄)を訪問し小野家との関わりなどお話を伺いました。

祖父白神澹庵も兄小野竹桃も南昌院の墓地に在る小野家のお墓に眠ります。小野竹喬は生前にしばしば南昌院を訪れて先祖のお墓参りをされたと伺いました。

小野竹喬が先祖供養の為に高野山に寄進した灯籠が現在は南昌院の本堂に納められています。

これは高野山の改装に伴い、その処遇を高野山本山から京都の小野家に伺いを立てたところ、笠岡の小野家菩提寺である南昌院にお願いしたいとの意向があり、それに添いその後は南昌院にてお預かりしているとの事です。小野竹喬は 89 歳で他界しお墓は京都(上品蓮台寺)に在りますが、竹喬のご遺族は現在も小野家ご先祖の供養に南昌院を訪れているとお聞きしました。また、金山真澄住職は南昌院に於いても御位牌をお預りし、小野家の皆様と同様に竹喬(戒名:実相院殿覚法竹喬大居士)のご供養を執り行っていると語られました。

南昌院に関して詳しくは

<http://www.nanshojin.com> をご覧ください。



現在は南昌院本堂に在る竹喬が供養に寄進した灯籠